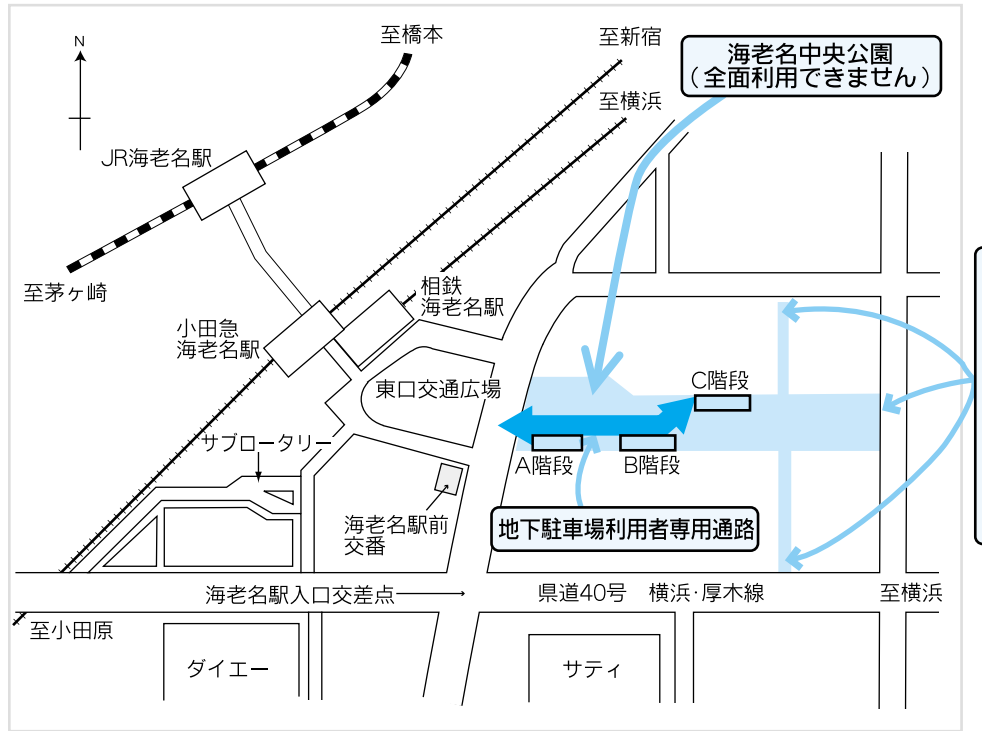


海老名中央公園 10月1日~来年4月中旬(予定) 工事で利用できません



通り抜けできません

●駅前地下駐車場は今まで通り営業

平成16年3月の完成を目標に
進めている、海老名駅自由通路
整備事業のため、海老名中央公
園の駅側出入口付近で工事を行
います。また併せて、中央公園
のリニューアル工事を行うため
中央公園全体の利用ができなく
なります。

利用できない期間は、10月1
日から平成14年4月中旬までを
予定しています。

なお、中央公園地下駐車場は、
これまでどおり駐車できます。

地下駐車場利用者の方は、駅側
の歩道と各出入口(A階段・B
階段・C階段)を結ぶ利用者専
用通路をご利用ください。

工事期間中は、ご迷惑をおか
けしますが、早期完成を目指し
ますので、しばらくの間、みな
さんのご理解と協力をお願い
します。

●自動交付機休止のお知らせ

〔9月22日(土)です〕

市役所ロビーに設置の住民票
印鑑登録証明書の自動交付機は、
庁舎内電気設備点検のため9月
22日(土)は利用できません。

自動交付機は年末、年始を除
き毎日ご利用いただけます。稼
働時間は、平日は午前8時30分
から午後5時まで。閉庁日は午
前8時30分から午後4時30分ま
です。

利用する場合には、「市民カー
ド」が必要です。「市民カード」

の交付申請は、暗証番号の登録
とともに、本人が直接市民課窓
口で行ってください。その際、
本人確認のための官公署が発行
した写真付きの身分証明書(運
転免許証、パスポートなど)を
提示してください。

※なお、保証人、文書照会の
方法でも手続きが行えます。印
鑑登録が必要な方は、登録する
印鑑もお持ちください。発行し
た市民カードは印鑑登録も兼
ねます。

市内の地下駐車場は、15分以
内の利用は無料。営業時間は午
前7時から午後11時までです。

問 公園緑地課(内621) 駅周辺整備室(内692)

海老名市史 通史編 近世を刊行

2編11章 歴史の読み物として編さん

「海老名市史 通史編 近世」
が刊行されました。これまで「海

推薦してください 技能功労者・優良事業所など

市では、技能功労者や優良事
業所などの表彰事業を実施して
います。次の基準に該当される
方や事業所などの推薦をお願い
します。

◎技能功労者

①技能者として、同一職業に
30年以上従事している55歳以上
の方 ②優れた技能を持ち、他
の模範で、後進の指導や育成な
ど業界に貢献している方。

◎優良技能者

①技能者として、同一職業に
10年以上従事している方 ②優

◎優良従業員

①市内の事業所に勤務する従
業員で、勤続年数10年以上の方
②人物、勤務成績が優秀で、
他の従業員の模範である方 ※

ただし、家族従業員と、以前に
この表彰を受けた方を除きます。
▽以上の推薦機関：各種団体・
事業所・商店。

◎優良事業所

①市内で1年以上事業所を営
み、資本金・出資金が3億円以
下、および従業員300人以下の事
業所 ②販売・生産・労務・経
営管理が良好で、経営成績が優
良であること ③経営の合理化・
事業所の近代化・消費者サービ
スなどが優良であること ④事
業所内外の作業環境、従業員の
福利厚生などが優良であること。

以上該当し、他の事業所の
模範である事業所。ただし、過
去5年以内にこの表彰を受けた
事業所は除きます。

9月14日から受付 10月31日に表彰

「海老名市史 通史編 近世」
が刊行されました。これまで「海

市内に残された史料を基に、
江戸時代の海老名の様子が記述
され、政治・経済の流れのほか
に、俳句やいけばななどの文化
や、現在でも目にすることがで
きる石仏についてとりあげるな
ど、数百年の歴史と現在とのつ
ながりが感じられ、親しみやす
い読み物となっています。

また、口絵にはCG(コンピュー
ターグラフィックス)による景
観の復原図を掲載。視覚的にも
興味深い構成となっています。

◎市役所売店などで有料頒布

A5判、約800ページ。市役所
地下売店・内田屋書房厚木ビブ
レ店郷土誌コーナーで頒布しま
す。価格は1冊5900円。

なお、市役所1階情報コーナー・
市図書館・有馬図書館で閲覧で
きます。

市史編さん室(内8548
2)へ。※郵送での取り扱いも
します。



市内に残された史料を基に、
江戸時代の海老名の様子が記述
され、政治・経済の流れのほか
に、俳句やいけばななどの文化
や、現在でも目にすることがで
きる石仏についてとりあげるな
ど、数百年の歴史と現在とのつ
ながりが感じられ、親しみやす
い読み物となっています。

また、口絵にはCG(コンピュー
ターグラフィックス)による景
観の復原図を掲載。視覚的にも
興味深い構成となっています。

なお、市役所1階情報コーナー・
市図書館・有馬図書館で閲覧で
きます。

◎市史編さん室(内8548)

市史編さん室(内8548
2)へ。※郵送での取り扱いも
します。

市史編さん室(内8548
2)へ。※郵送での取り扱いも
します。

市史編さん室(内8548
2)へ。※郵送での取り扱いも
します。

第469話 郷土の里うた・里ことばなど(註) 旧相模鉄道と戯れことば

いまのJR相模線の起りは、大正四年四月七日、茅ヶ
崎町(現市)、高座・津久井二郡関係の村々と、八王子町
(現市)の有力者が、「相模軽便鉄道」の発起人會を、東
京都芝区(現港区)白金町の衆議院議員岡崎久次郎方
で開催したのが始まりである。

発起人は四十六名の多数であった。海老名村では望月
珪治・古川謙・島崎市道外六名、有馬村では宇田吉五郎・
左藤友重・神部千代松外十四名である。当初の路線計画
は茅ヶ崎から八王子までであったが、のち橋本までに短
縮。社名を相模鉄道株式会社、資本金六十万円、社長に
岡崎久次郎、本社を茅ヶ崎市茅ヶ崎五三三七に置くとし、
大正六年十二月十八日発足した。

次いで大正八年十一月、香川駅の予定地で起工式を挙
げ、第一期工事予定の茅ヶ崎〜寒川間に着工、その開通
は大正十年九月であった。以後倉見駅までは大正十五年
四月、当時河原口にあった厚木駅までは同年七月と相前
後して開通したが、橋本駅までは、ずっと遅れて昭和六
年四月にずれ込んだ。



旧相模鉄道(現JR相模線)路線図

会社設立当時の株主の動向は不明だが、大正九年五月
三十一日現在の郷土の株主は、五十一株宇田吉五郎、三
十八株島崎市道、三十株左藤友重・神部千代松・望月珪
治の三名をはじめ、二十株三名、十五株二名、十株二十
名、七株一名、五株十八名、四株四名、三株一名、二
株五十二名、一株八十七名で、総計二百三名。村別では
海老名二十九名、有馬百七十四名で、有馬は実に総株主
数千三百十四名に対し十三%余りにも及ぶ高率を占めて
いた。如何に地域の人たちが、交通の便と村の振興発展
に大きな期待を寄せていたかが知られる。

会社としてはもともと砂利採取販売輸送を大きな目的
としていたので、大正十年寒川まで開通すると真っ先に
この営業を開始した。厚木まで開通したところになると、
京浜地区への需要はますます増えてきたのであるが、更
にこれに拍車がかかったのは、大正十二年に起きた関東
大地震後の復興用資材としての砂利・砂の需要の伸びで
あった。それ故昭和十五年には、十五、積みみの砂利専用
貨車百両を投入するという豪勢さであった。しかし、昭
和三十九年橋脚及び沿岸保護のため相模川の砂利採取は
全面禁止となり、漸次この業は消滅の運命をたどること
になったのである。

一般運輸を合わせた営業成績には浮沈があったが、昭
和十八年四月には神中鉄道(現在の相模線)を吸収合併